

千葉市における気候変動適応への取組紹介

令和元年7月26日

千葉市 環境保全課 温暖化対策室

1

千葉市地球温暖化対策実行計画 改定版（2016年10月）

・2016年10月に改定した地球温暖化対策実行計画に、緩和策に加え、**適応策についても位置づけ**

<目標> 2030年度までに市内の
温室効果ガス排出量を
13%削減（2013年度比）

<施策の体系>

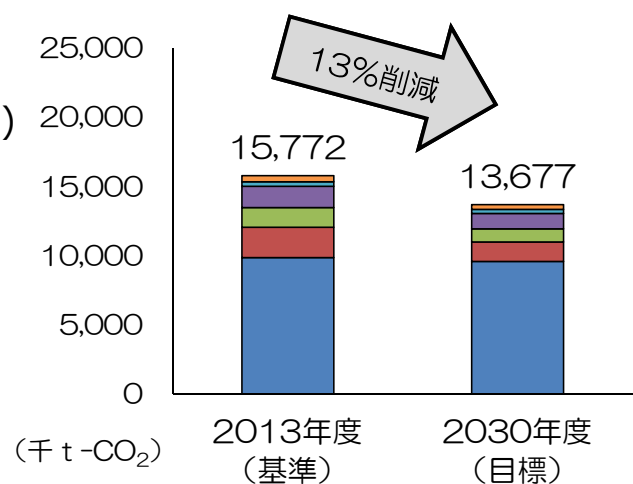
○部門別施策

- ・産業部門、エネルギー転換部門
- ・業務部門
- ・家庭部門
- ・運輸部門
- ・廃棄物部門

○部門横断的対策

- ・省エネルギー・再生可能エネルギー等の普及
- ・低炭素まちづくりの推進
- ・水素社会への対応
- ・森林吸収源、緑化推進

○気候変動による環境変化への適応策



⇒**計画への適応策の位置づけ**

2

取組例① <防災分野（集中豪雨対策）>

- ・台風や局地的な集中豪雨などによる被害の軽減を図るため、雨水貯留・浸透施設の設置や、排水施設・河川の改修等を推進
- ・防災マップ・ハザードマップの普及、避難場所・避難所の周知

浸水被害の軽減と対策の強化

事業内容

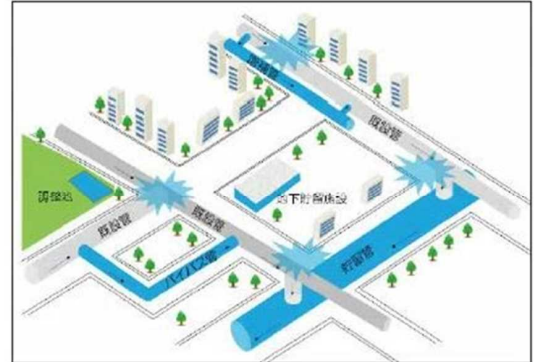
ゲリラ豪雨などによる浸水被害を軽減するため、JR千葉駅東口などの雨水対策重点地区について浸水対策を強化するとともに、支川都川の改修や排水路の整備を進めます。

主な取組み

- 雨水管・雨水浸透施設の整備
- 二級河川支川都川実施設計、土質調査
- 排水施設整備



浸水被害が発生しているJR千葉駅東口などについて、雨水施設の整備を進めるとともに、河川の改修や排水路の整備を進めます。



浸水対策（イメージ図）

（「2019年度 千葉市の主要プロジェクト」より）

取組例② <健康分野（熱中症対策）>

<ハード対策>

- ・市立小中学校へのエアコンの整備
（「2019年度 千葉市の主要プロジェクト」より）

学校施設の環境整備

事業内容

学校施設の長寿命化を図るため、計画的な保全改修を行うとともに、施設環境・機能を改善するための整備を行います。

主な取組み

- 計画的な保全改修による学校施設の長寿命化
- 老朽化したトイレの衛生環境の改善
- 普通教室等へのエアコンの設置



施工前



施工後



老朽化した校舎を計画的に改修し、子どもが生き生きと学び、心身とも健やかに成長できる学校環境を作ります。

<ソフト対策>

- ・市立小中学校の夏季休業期間を延長
【2019年度】7月16日(火)～8月30日(金)
※7月15日(月)が海の日のため、実質7月13日(土)～
【2018年度】7月21日(土)～8月31日(金)

適応策の普及啓発に関する取組

2018年12月

ちばし地球環境保全セミナー

(千葉市地球温暖化対策地域協議会主催)

- ・気候変動適応をテーマとして、市民、事業者向けに講演会を開催



12月は地球温暖化防止月間

申込不要・先着順 入場無料
定員150名

ちばし地球環境保全セミナー

日時 12月13日(木) 開演14:00~15:50 (開場13:30)

会場 ホテルポートプラザちば「ロイヤル」 (千葉市中央区千葉港8-5)

全国各地で毎年のように甚大な水害や土砂災害が発生しており、今後より一層の深刻化が懸念されています。そのような状況に 대응するため、本年12月には気候変動適応法が施行され、関係者が一丸となって適応策を強力に推進していくことが求められています。千葉市地球温暖化対策地域協議会ではちばし地球環境保全セミナーを開催し、関係の意向や市民・事業者が出来る取組について紹介します。積極的な参加をお待ちしています。

第1部 「気候変動適応法に基づく適応策の推進」
14:00~14:50
環境省地球環境局気候変動適応室室長補佐 池本 忠広 氏

第2部 「国立環境研究所の気候変動適応に関する取組」
15:00~15:50
国立研究開発法人国立環境研究所 主任研究員 岡 和孝 氏

千葉市地球温暖化対策地域協議会 (千葉市環境保全課内)
TEL.043-245-5199
FAX.043-245-5553

ちばの環境
CHIBA CITY
スマート地球温暖化

5

今後の取組

- ・千葉市地球温暖化対策実行計画 改定版（2016年10月）では、庁内関係部署の既存施策を中心にとりまとめている。
今後は、気候変動の影響予測等をもとに、**新規の適応策**についても検討を行う。
- ・地域気候変動適応センターの設置も含め、適応策の**推進体制の構築**を図る。